

専門・認定看護師からの ニュース&トピック20号

専門・認定看護師の活動にご協力、ご支援、ありがとうございます。
今回は、クリティカルケアの領域からニュース&トピックをお届けします。

救急看護認定看護師 難波・越智
集中ケア認定看護師 高橋・衣笠

第20号 2023年11月発行

1

特集「急変時の対応に関して」

◆「気づき」から始める急変対応

多くの急変には前兆があります。キラーシンプトムを見極めましょう。

◆日本救急医学会認定ICLSコース

COVID-19感染症に伴う行動制限により開催を延期していましたが、開催を再開しています。

◆2023年度特定行為研修生より

今年度、認定看護師からは2名の看護師が大阪府看護協会
で研修を受講しています。



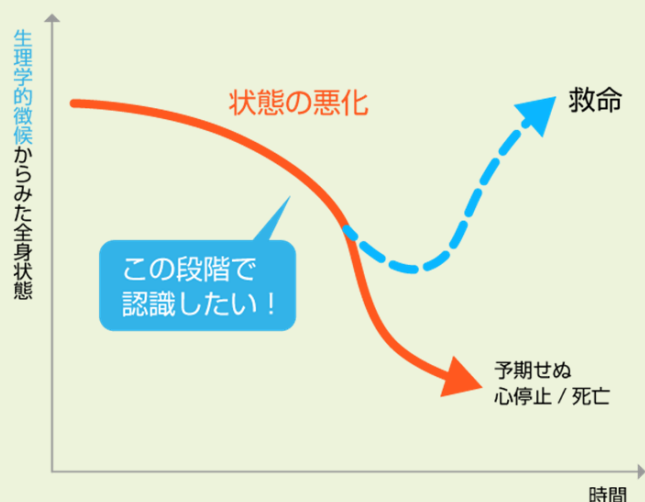
「気づき」から始める急変対応

2

第20号 2023年11月発行

多くの「急変」には前兆あり

心停止となった患者の約7割は事前（6～8時間前）に生理学的異常症状や徴候を示すと報告されています。



病院内であっても、心停止に陥ってからの介入では予後が不良であることが分かっています。重症化する前に徴候を発見し、介入することで予後の改善に繋がります。当院のCPR事例においても、約8割は事前に徴候を捉えることができています。急変時の対応を身に着けることは大切ですが、同時に急変前に気づく力もとても大切です。

キラースimpトムの有無を見極めよう

キラースimpトムとは、日本医療教授システム学会「患者急変対応コースfor Nurseガイドブック」の中で想像した造語で、「急変に結びつく危険な徴候」を意味します。

キラースimpトムには以下のような徴候が挙げられます。

呼吸

1. 24回/分以上の頻呼吸や明らかに不十分な呼吸、努力様呼吸
2. 吸気/呼気時の異音・雑音
3. 動脈血酸素飽和度 (SpO₂) の急激な低下



末梢循環

1. 皮膚の蒼白、末梢のチアノーゼ
2. 冷感（敗血症では温感）、冷汗
3. ブランチテストで赤身が戻るまで2秒以上
4. 頸動脈の脈拍が弱い（心肺停止の可能性）、頭骨動脈や大腿動脈（鼠径部）の脈拍が弱くて速い（ショックと判断）



外見と意識

1. 呼びかけに無反応
2. 呂律が回っていない
3. 朦朧としている
4. 表情や姿勢など全身から感じる印象



「気づき」は具体的な症状というよりは、漠然とした看護師の第6感のようなものです
「何かおかしい」「いつもと違う」を大事にしましょう！

日本救急医学会認定ICLSコース 再開しました

3

第20号 2023年11月発行

★COVID-19感染症に伴う行動制限により開催を見合わせていたICLSコースの開催を再開しました

ICLSコースってどんなことをしているの？



BLS・モニター・気道管理ブースに分かれてスキルを磨き、後半はシナリオステーションでシミュレーション実習を行っています。

研修内容はガイドライン2020です



今年度はBLS研修・日本救急医学会認定ICLSコースの受講を看護師ラダー研修として企画しました！急変時対応を一緒に学びませんか？

根拠に基づいた
一次救命処置を学ぼう！

＜領域＞ケアする力
＜項目＞救命救急
＜ラダーレベル＞ JNAラダーⅢレベル

＜学習内容＞
①一次救命処置（BLS）を実施し助言を得ながら実施の根拠を説明する
②生命の危機的状況を見出した際の連絡体制を理解する

研修日時：2023年 10月 16日（月） 17:00～18:00
場所：講堂
研修目的：
①一次救命処置（BLS）を実施し助言を得ながら実施の根拠を説明する
②生命の危機的状況を見出した際の連絡体制を理解する

研修対象者：看護師
事前課題
ナースングスル：①④は学習後、テストを受け100点を取得する
①CPR・AEDの心臓蘇生法（一次救命処置）を学習する
②数回 心肺蘇生（一次救命処置）：全体の流れ、確認
③数回 心肺蘇生（一次救命処置）：手技の詳細、確認
④CPR・AEDのAEDを学習する

集合研修：事前課題の修了者が集合研修（実技）に参加する
研修企画者：教育委員会（田上 貴子、高橋 洋美）
講師：救命看護認定看護師 越智 貴子
救命看護認定看護師 越智 貴子

申込み方法と定員
★定員は30名までです。院内メールで「〇〇」にお申込みください
申込みは、9月30日 17:00までにお申し込みください

★ラダー申請書のみ
OJTシートを所定の形式で提出し自部署で承認を得てください

急変は、いつ誰に起こるのかは分からず予測できないことも多くあります。患者さんの急変を今、発見したら、あなたはどのように動きまか？前回受講から年数が経過している方、受講を迷っている方など実技やチームとしての**蘇生訓練**を経験して実際の現場に役立てて頂ければと思います。

ICLSインストラクターをやってみよう

ICLSコースを受講して
急変時対応を学ぼう！

＜領域＞ケアする力
＜項目＞救命救急
＜ラダーレベル＞ JNAラダーⅢレベル

＜学習内容＞
①急変の予測のもと、呼吸、循環、意識の評価が行える
②救命救急場面におけるリーダーシップについて学ぶ
③救命救急時のケアの受け手の家族や周囲の人に配慮しながら対応できる

研修日時：2023年 10月 28日（土） 11時30分～16時
（時間は決定次第お知らせします）
研修場所：市立池田病院 講堂
研修目的：急変時対応ができるようになる
研修対象者：ケアする力
（救命救急のJNAラダーⅢ取得者が望ましい※必須ではない）
ICLSコース申し込み者

研修対象者と事前学習
1. ACLS支援の要する受講者テストを随時随時（受講決定後、後日配布します）
2. コースまでにプレテストを行う
3. 上院実施後 ICLSコースを受講する
（受講日）OSCE（オスカー）客観的臨床能力試験）で実践と評価

講師名：越智 貴子、越智 貴子
申込み方法と定員
★院内看護師の定員は〇〇名までです。院内メールで「〇〇」にお申込みください

2023年度特定行為研修中です

実習期間:2023年12月1日まで



4

第20号 2023年11月発行

感染管理認定看護師
生地



集中ケア認定看護師
衣笠

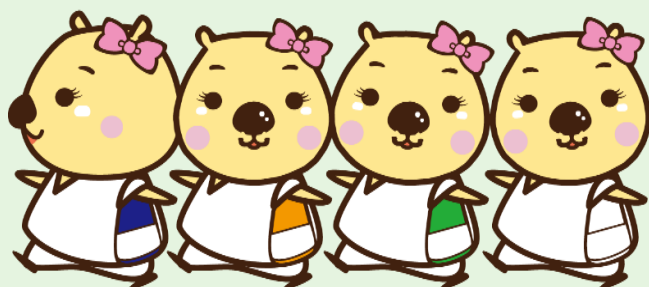


【実習内容】

- * 脱水症状に対する輸液による補正
- * 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
- * 中心静脈カテーテルの抜去
- * 皮下ドレーンの抜去
- * 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時投与
- * インスリンの投与量の調整

【実習内容】

- * 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
- * 侵襲的陽圧換気の設定の変更
- * 非侵襲的陽圧換気の設定の変更
- * 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
- * 人工呼吸からの離脱
- * 直接動脈穿刺法による採血
- * 橈骨動脈ラインの確保
- * 脱水症状に対する輸液による補正
- * 抗けいれん剤の臨時の投与



ご指導いただいている先生方、
ご協力いただいているスタッフの
皆様、ありがとうございます！